

INFORMATION 説明会告知



平成29年度第1回 眼科医局説明会 高橋 寛二

- 日時：平成29年4月28日(金)
- 開催場所：未定
- 参加対象者：初期研修医、臨床実習生

連絡先

眼科学講座 永井 講師
nagaiy@hirakata.kmu.ac.jp



卒研センター NEWS



附属病院の職員向け保育所が拡充。定員を増やし、病児受け入れも開始!

本学附属病院(大阪府枚方市)は、敷地内の院内保育所を昨年11月に拡大オープン。受入人数の上限を従来の倍となる30名に増やし、附属病院だけでなく大学や香里病院(同寝屋川市)の医師でも利用できるように整備しました。

また、これまで不可能だった病児・病後児保育も、小児科医・看護師のサポート体制を構築し、対応可能に。働く子育て世代の医師支援を充実させています。



外科 (消化器外科・乳腺外科・小児外科) 専門研修プログラム

患者さんのQOLを重視し、
内視鏡下低侵襲手術を積極的に実施
がん治療の主力を担う診療科で幅広い経験を積む
女性医師のための就労環境も整備・充実

集学的がん治療の経験で 社会のニーズに応える



外科学講座
権 雅憲 教授



当科の特徴は、鏡視下手術の施行率が高いことにあります。現在、全国の鏡視下手術の施行率は胃切除が25%・大腸切除が50%ですが、当科ではそれぞれ50%・80%です。また、ますますニーズが高まるがんの治療について、本プログラムでは外科手術に化学療法や緩和医療などを組み合わせた集学的治療の経験を積むことができます。

さらに今後、高度先進医療としてダ・ヴィンチを用いたロボット手術の導入も予定しています。

専門研修修了後に得られる資格

- 消化器外科 —— 外科専門医、消化器外科専門医、内視鏡外科技術認定医、肝胆膵外科高度技能専門医
- 乳腺外科 —— 外科専門医、乳腺専門医
- 小児外科 —— 外科専門医、小児外科専門医

専門研修プログラムでの症例数

肝がん152件、大腸がん583件、胆石711件、膵がん71件、乳がん428件、ヘルニア507件、胆道がん35件、胃がん354件、虫垂炎135件、食道がん55件、血管810件、小児679件

初期研修で推奨されるローテート診療科

消化器外科、乳腺外科、末梢神経外科、循環器・呼吸器外科、麻酔科、救命救急科、小児外科 など



関西医科大学シミュレーションセンター (KMUSC)

KMUSCは、知識・技能・態度の秀でた医療人育成のため、基本から専門分野まで幅広く学習できる環境を整備しています。

- point 1 >> 365日24時間、いつでも利用可能!
- point 2 >> 充実の保有機器で、多彩な体験学習を実現!
- point 3 >> 医療従事者も一般職員も、幅広く利用可能!
- point 4 >> 300m²の余裕あるスペース、模擬病室も完備!

大部屋ゾーン

身体診察、CVC、ルンバル、肝臓血管造影など、診断・治療・処置の様々なタスクトレーニング、状況設定シミュレーション、集合研修や個人学習など目的に合わせて活用。

心拍動下冠動脈バイパス手術訓練

模擬病室

4床のベッドとメディカルコンソールを設置し、病室内を再現することで実践的なトレーニングを実現した模擬病室を完備。

状況設定シミュレーション

血管治療・内視鏡ゾーン

バーチャルで血管インターベンションができるVISTをはじめ、上下部内視鏡、胸腔鏡や腹腔鏡、実体顕微鏡、実臨床と同じ各種内視鏡(尿管鏡、関節鏡)など設置。

CVC勉強会

読者の声

あなたの「声」を掲載しませんか?

卒研ニュースでは読者のご意見・ご感想を募集しています。気になることや面白いこと、施設を利用したご感想やご要望などさまざまな読者の「声」をお待ちしています。

応募先 sotugori@hirakata.kmu.ac.jp



若手でも手術を経験でき、研究もできる、アットホームな診療科です

私は関西医大を卒業して初期研修も関西医大で行い、入局しました。当科の症例は非常に豊富で様々な症例を経験できるだけでなく、開腹手術や内視鏡手術も積極的に行っています。大学附属病院ならではの高難易度症例はもちろん、腹腔鏡下胆嚢摘出術やヘルニア手術も行っており、若手にも手術を経験するチャンスがあります。また、地方会や研究会、全国学会など学術活動も盛んに行っており、大学附属病院で行う研修の強みだと思います。

医局は全体的にアットホームな雰囲気です。上級医の先生方はときに厳しくときに優しく指導していただき、充実した日々を過ごしています。ちなみに2017年度は男性1名、女性2名の入局を予定していて、外科学講座はますます盛り上がってきています。外科に少しでも興味をお持ちの学生さんや研修医の皆さんが、まずは見学にきてくれること、そして入局してくれることを心からお待ちしています。ぜひ、一緒に手術しましょう。



外科学講座
後期臨床研修1年目
住山 房央 医師

第一内科（血液腫瘍内科・呼吸器内科・リウマチ膠原病内科） 専門研修プログラム

北河内圏で数少ない血液内科標榜、豊富な症例数
多くの難治性疾患症例、生物学的製剤など最新の治療を提供
感染症・内科学全般に関する教育も実施

研修Outline



専門領域に加え、
内科全般についての
幅広い知見の獲得を目指す

内科学第一講座
野村 昌作 教授

本学内科学第一講座は、血液・呼吸器・膠原病の三分野を担当しています。おのおの専門領域に加え、感染症や内科全般に対する教育も積極的に行っています。プログラム修了後は、各専門分野をより深く追究したり、内科分野を広くカバーした開業を目指したりすることも可能です。

なお、研究室では生体防御機構の修復を研究テーマの根幹に据え、研究に取り組んでいます。

専門研修修了後に得られる資格

日本内科学会認定内科医・内科専門医、インфекションコントロールドクター（ICD）、日本感染症学会感染症専門医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、日本結核学会結核・抗酸菌症認定医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本リウマチ学会リウマチ専門医、日本リウマチ財団リウマチ登録医、日本リウマチ学会登録ソノグラファー

初期研修で推奨されるローテート診療科

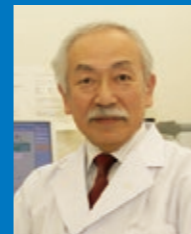
外科、麻酔科、病理・細菌検査を含む検査科、整形外科、皮膚科、眼科



形成外科専門研修プログラム

形成外科で行う全領域の手術、レーザー治療を研修
多血小板血漿（PRP）を用いた再生医療で世界をリード
多彩な症例と高度で先進的な技術を習得できる環境

研修Outline



基本的手技から先進の
治療まで国内外から注目を
集める施設での研修

形成外科学講座
楠本 健司 教授

本プログラムでは、基本的な手技から先進の知識と様々な症例に対する診療技術の習得を目指します。当科では、先進のナビゲーションを使用した骨切り術・骨折治療、マイクロサージャリーを用いた頭頸部再建、審美性の高い乳房再建のほか、再生医療の分野では、PRPを用いた創傷治療や組織再生、培養表皮を用いた重熱傷治療（関西医大方式）などに取り組んでいます。

先進の診療や研究で国内外から注目を集め、留学生や見学者を多数受け入れています。

専門研修修了後に得られる資格

日本形成外科学会専門医、形成外科領域機構専門医

研修のために参加する学会

日本形成外科学会、関西形成外科学会、日本熱傷学会、日本頭蓋顎顔面外科学会、日本マイクロサージャリー学会 など

専門研修プログラムでの症例数

手術—— 1073例（附属病院）、627例（総合医療センター）
皮膚レーザー—— 628例（附属病院）、45例（総合医療センター）

初期研修で推奨されるローテート診療科

救急医学科、小児科、外科（乳腺外科）、女性診療科、新生児科、皮膚科、耳鼻咽喉科、整形外科、精神神経科 など



心療内科専門研修プログラム

心理社会的因子が関与する内科系疾患を幅広く扱う
心療内科と総合診療科が同一講座内に存在し、密に連携
世界的にみても希少な全人的医療の研修環境

研修Outline



心療内科と総合診療科が
相互に連携した世界的にも
珍しい研修・診療体制

心療内科学講座
福永 幹彦 教授

本学心療内科学講座には、全人医療を特色とする二つの診療科（心療内科、総合診療科）が存在しています。いずれも心理社会的因子が関与する内科系疾患を幅広く扱っており、その違いは病態の把握や治療アプローチにおける比重がより心理社会面にあるか、身体面にあるかという点です。このようなコンセプトで統合された講座は世界的にも希少かつきわめて先進的であると言えます。

本学心療内科の専門研修医は、研修期間中に総合診療科の外来研修を経験します。

専門研修修了後に得られる資格

日本心身医学会認定専門医、日本心療内科学会専門医、希望者には緩和医療専門医、産業医資格、日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医

初期研修で推奨されるローテート診療科

内科全般、精神神経科（ただし、それ以外いずれの診療科の研修も有益であり、幅広い研修が望ましい）

研修プログラム概要

心療内科部門—— 大学附属病院での心療内科病棟および外来研修を中心に、院内総合診療科での外来研修や院内緩和ケアチームでの緩和ケア研修を3年間行います。

総合診療部門—— 日本プライマリ・ケア連合学会認定の「関西医科大学附属病院総合診療医後期研修プログラム」に登録し、3年間の研修を行います。



産婦人科専門研修プログラム

男女比1:1、女性にも働きやすい環境が整う
サブスペシャルティー領域専門医も目指せる充実した研修・指導体制
専門医取得に必須の筆頭論文執筆もサポート

研修Outline



充実した指導体制のもと
一般診療から専門領域まで
広く深く学べる

産科学・婦人科学講座
岡田 英孝 教授

研修の主体となる附属病院は、大阪府内6つの総合周産期母子医療センターのうちの一つです。近畿圏屈指の症例数を誇り、一般診療から高度な先進医療にいたるまで十分な経験を積むことができます。

研修修了後は充実した指導体制のもと、サブスペシャルティーである婦人科腫瘍、周産期、生殖医療の専門医資格取得や婦人科内視鏡学専門医を目指しての修練も可能です。

専門研修修了後に得られる資格

日本産科婦人科学会専門医、母体保護法指定医

研修のために参加する学会

日本産科婦人科学会、近畿産科婦人科学会（以上必須）、日本婦人科腫瘍学会、日本周産期学会、日本生殖医学会、日本婦人科内視鏡学会、日本超音波医学会、日本受精着床学会、婦人科手術学会、臨床遺伝学会 など

専門研修プログラムでの症例数

分娩—— 約750件（うち帝王切開250例）
母体救急搬送の受け入れ—— 100件以上
婦人科手術—— 約400件（うち悪性腫瘍150例）
体外受精—— 約150件
人工授精—— 約200件

初期研修で推奨されるローテート診療科

小児科（新生児科）、麻酔科、腎泌尿器外科、消化器外科、救急医学科 など

